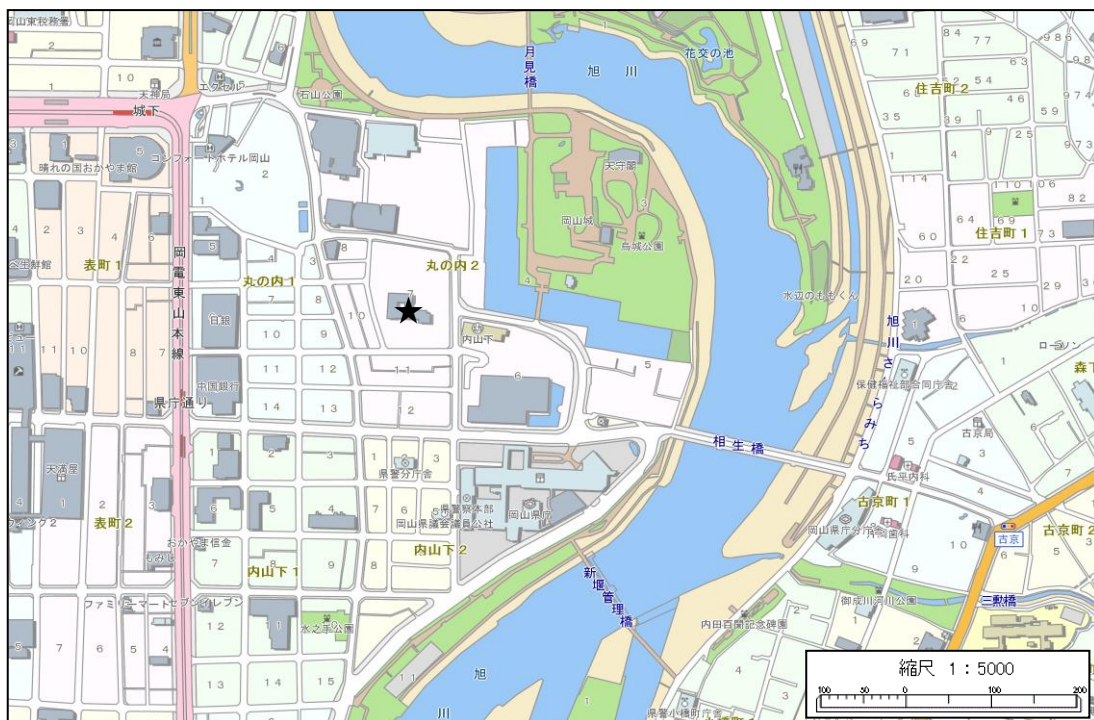


はやしばらびじゅつかんほんかん ひがしぐら なかぐら にしぐら ながやもん
林原美術館本館、東蔵、中蔵、西蔵、長屋門

- (1) 所在地 岡山市北区丸の内
- (2) 所有者 株式会社林原
- (3) 概要 岡山城二の丸跡に建つ美術館で、本館は、前川國男（まえかわくにょ）設計の鉄筋コンクリート造で、昭和 38(1963)年建築。中庭を中心に単位空間を連続した回遊性を重視する平面計画、外壁の焼過ぎ煉瓦等、意匠的・技術的にも後の前川作品に通じる建築である。東蔵、中蔵は明治前期、西蔵は明治 14(1881)年に建設され、いずれも土蔵造二階建切妻造（きりづまづくり）本瓦葺で、外部は漆喰塗りとなっている。東蔵は、膨大な貴重資料を収蔵した旧池田家文庫として貴重な建物で、中蔵、西蔵とあわせて武家の蔵群としての街並みを形成する。長屋門は、江戸末期の建設で、土蔵造入母屋造（いりもやづくり）本瓦葺となっており、岡山藩池田家およびその分家である生坂藩池田家の遺構としても貴重である。3棟の蔵と長屋門は、明治 42(1909)年頃に現在のルネスホールの向かい側付近にあった生坂向邸（いくさかむかいやしき）から、現在の場所に移築された。
- (4) 登録基準
- 一 国土の歴史的景観に寄与しているもの：東蔵、中蔵、西蔵、長屋門
 - 二 造形の規範となっているもの：本館



位置図

(平面図)



(写真)



林原美術館本館外観



林原美術館東蔵外観



林原美術館中蔵外観

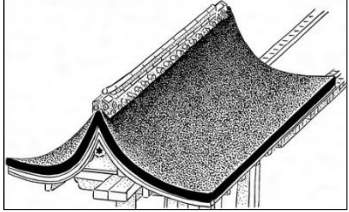
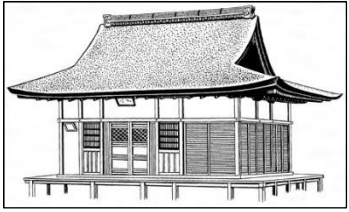


林原美術館西蔵外観



林原美術館長屋門外観

【用語解説】

- 前川國男(1905-1986)：昭和時代の建築家。昭和 3(1928)年フランスにわたり、ル=コルビュジエに学び、日本近代建築界のリーダーとなる。戦後は岡山県庁舎(1957)、東京文化会館(1961)、国立西洋美術館新館(1979)などの建築で注目を集めた。門下に丹下健三ら。昭和 61 年死去。
- 切妻造(きりづまづくり)：棟から両方に葺き下ろした、二つの面からなる屋根、あるいはその形の屋根をもった建物。
- 入母屋造(いりもやづくり)：寄棟造の屋根上部に切妻(きりづま)の小屋根を合わせたような形状の屋根の造り。
- 旧池田家文庫：池田家文庫資料は、初代岡山藩主池田光政が寛永 9(1632)年に鳥取から岡山城に入部して以来明治 4(1871)年の廃藩置県に至るまでの約 240 年の岡山藩藩政資料及び池田侯爵家襲蔵の図書類で、藩政資料 68,083 点、和書 4,166 部(22,117 点)、漢籍 653 部(10,420 冊)の総称である。明治以後、岡山大学に寄贈される昭和 34(1959)年まで、林原美術館東蔵に収められていた。
- 岡山藩池田家：寛永 9(1632)年に池田光政が、鳥取から移動してきて藩主になり、その子孫が明治維新に至るまで歴代の藩主を務めた。
- 生坂藩池田家：備中国、窪屋郡(現在の倉敷市の一部と総社市の一部)を主な領地とした藩(石高は 15,000 石)。岡山藩池田家の支藩で、初代藩主は池田光政の三男、池田輝録(てるとし)。